

令和2年度 第1回鳥取市下水道等事業運営審議会 議事録

- 1 日 時 令和3年1月15日（金） 10:00～11:30
- 2 場 所 下水道部庁舎 3階大会議室
- 3 出席委員 増田貴則会長、戸苺丈仁委員、星見喜昭委員、中村均委員、
林浩志委員、前田四寿子委員、田中雅勝委員、
塚田比佳里委員、牛尾柳一郎委員、中島淳子委員
- 4 議 案 議 事 (1) 鳥取市下水道等事業の経営状況について
(2) 鳥取市下水道等事業経営戦略の目標値及び現状報告
について
(3) 鳥取市下水道等事業経営戦略の見直し時期について

5 議 事

発言者	質疑応答
事務局	<p>定刻になりましたので、ただいまより令和2年度第一回鳥取市下水道等事業運営審議会を開催させていただきます。本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。私は事務局を担当しております下水道企画課課長補佐の松尾と申します。どうぞよろしくお願い致します。なお、本日は所用のため民野委員が欠席されております。委員定数11名のうち現在10名のご出席を頂いておりますので審議会条例6条の2によりまして過半数出席ということで会を開催させていただきます。会の進行にあたりましては、会長が決定するまで事務局のほうで進めさせていただきます。それでは、開会にあたりまして高木部長があいさつを申し上げます。</p>
下水道部長	<p>改めまして、おはようございます。下水道部長の高木と申します。よろしくお願いいたします。本日はお忙しい中、令和2年度鳥取市下水道等事業運営審議会にご出席いただき大変ありがとうございます。委員の皆様には、運営委員の就任にあたりましてご快諾いただきありがとうございます。本審議会では下水道等事業の円滑な運営を図ることを目的としまして、運営に関する重要事項について、調査、審議をしていただくこととなっております。直近では平成30年11月に開催</p>

下水道部長	<p>されまして、下水道等使用料平成31年度から令和3年度まで据え置くことが適当とされたというところでございます。令和3年度には令和4年度以降の下水道等使用料の見直しにつきましての検討を当審議会の皆様をお願いしたいと考えているところでございます。次に、下水道等事業を取り巻く経営環境でございますが、今後急速な人口減少等に伴うサービス事業の減少や、保有する施設の老朽化に伴う耐震事業の増大など厳しさを増しています。このような中、鳥取市下水道等経営戦略を策定いたしまして経営回復に向けた取り組みを現在進めているところでございます。計画期間は平成29年度から令和8年度までとなっております。策定分につきましては、質の高い見直しが求められているところでございます。本日の議題、報告になりますが、3項目についてご報告させていただくものでございます。委員の皆様には、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。本日はよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>なお、本日は新委員による初の審議会でもありますので、ここで委員の皆様のご紹介をさせていただきます。お配りしております名簿順にお名前をお呼びいたしますのでその場でご起立をお願いします。</p>
<p>～審議会委員・事務局自己紹介～</p>	
事務局	<p>それでは次第4の会長の選任に移ります。本審議会の会長は、審議会条例第5条第1項の規定により、委員の互選により定めることとなっております。どのように取り計らわせていただきましょうか。</p>
委員	<p>事務局一任。</p>
事務局	<p>よろしいでしょうか。事務局案としましては、前回に引き続き増田委員をお願いしてはどうかと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
事務局	<p>ご異議がないようでございますので、増田委員に本審議会の会長をお願いすることに決定いたしました。増田会長、正面の席にお座りください。</p> <p>それでは、改めまして、増田会長のごあいさつをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>改めまして、鳥取大学工学部の増田といいます。今、事務局から会長にご推挙いただきまして、皆様の承認をいただきました。誠にありがとうございます。前回に引き続き会長という職を引き受けることになりました。事前に皆様のところにも議事、資料等配布されているかと思えます。今回は「鳥取市下水道の経営状況について」、それから「経営戦略の目標値や現状について」がこの審議会の内容となっております。新型コ</p>

会長	<p>コロナウイルス感染症の影響を受けまして、鳥取市においても下水道利用者が多大な影響を受けているものと思われます。この感染症がどのような形で下水道等事業にも影響を及ぼしているのかを見ながら、また来年度以降になるかと思いますが、この経営戦略の見直しや、場合によっては下水道使用料の見直し等の話になっていこうかと思えます。したがって、感染症の影響はどう出ているのかというところを今回見ていければと思っておりますし、委員の皆様から忌憚のないご意見、ご質問等をいただきながら、この審議会を進めて行ければと思っております。皆様ご協力のほうよろしく申し上げます。以上をもってあいさつになります。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。では、本審議会条例第6条第1項の規定により会議の議長は会長が務めることになっておりますので、これからの議事進行をよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、次第に従いまして私のほうで議事を進めさせていただきます。まず、会長代理の指名となっております。本審議会条例第5条第3項にありますように、会長が欠けた場合に職務を代理していただく方をあらかじめ私から指名させていただくこととなっております。こちらを戸苅委員にお願いしたいと考えているのですが、皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは戸苅委員よろしく願いいたします。次に、議事録署名委員の指名です。この審議会では議事録を作成するにあたり、2名の委員さんに議事録署名委員になっていただいております。議事録署名委員は事務局が作成した議事録を確認したのち署名をいただくというもので、審議会の名簿順に2名ずつ指名させていただいております。今回は出席いただいている方から名簿順で戸苅委員と星見委員にお願いすることとなりますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>両委員了解</p>	
会長	<p>それでは、後日事務局が議事録を持参しますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、7の「議事」に入ってまいりたいと思います。7の議事では、(1)から(3)の「鳥取市下水道等事業の経営状況について」、それから「鳥取市下水道等事業経営戦略の目標値及び現状報告について」、そして「鳥取市下水道等事業経営戦略の見直し時期について」とこの3つが上がっております。既定の話題となりますので、一括して事務局よりご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料説明】</p>

会長	事務局からのご説明ありがとうございました。ただ今のご説明に関しまして、皆様からのご意見・ご質問等があればお願いいたします。
委員	16 ページの下水道への接続率についての質問です。2年を経過した長期未接続者に逐次訪問とありますが、どのような形で、どのような理由で接続されないのか、それについてどのようにアプローチされているのか少し具体的に教えていただければと思います。
事務局	初めの説明会等で、そのままつけていただければいいのですが、なかなかそうもいかず、接続していただけないという世帯がございます。そのような方々には、市域全体で1年半くらいのスパンで1回、特に湖山池周辺では1年に1回のスパンで戸別訪問を行いながら粘り強く接続をお願いしているところでございます。接続されない理由は、いわゆる経済的な理由が主流になっているところですが、費用が掛かるということでなかなか難しいというような方は実際多いということは聞いております。色々な融資制度などを説明しながら今後とも粘り強い活動を続けていこうと思っております。
委員	ありがとうございます。
会長	よろしいでしょうか。 その他、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。今の話題に関して私からですが、同じページで令和元年度の供用開始後3年目ですね、接続率が過去の実績と比べると低いように見受けられますが、過去の実績が70%くらいはある。スライドでいうと16ページの接続率の話になりますが、令和元年度末は50%ほど、これは何か特段の事情か、あるいは年によってこういうのもあるということなのか、それをお教えいただければと思います。
事務局	実績としましては、各年それぞれいわゆる3年前に供用開始したところが対象となっているので、新規に開拓されたエリアとかいうことであればいいのですが、すでに浄化槽（合併浄化槽）が入っていて、それからまだ長い時間が経っていないため、浄化槽でまだいけるという方が実際多いです。下水道が供用開始になったのであれば、そちらを優先して接続していただかなければならないのですが、そういったところが多いというのが一つの原因になるのかなと思います。また、町内会組織がある程度しっかりとしていて、みんなを引っ張っていくようなところが多いような年だと少し率が高いという状況ではあります。
会長	ありがとうございます。よくわかりました。その他何か。
委員	今回の審議会の資料を送っていただいたときに、資料を見ながら有収水量について質問したいなと思っていたら、非常に詳しく説明していた

委員	<p>だいたいで、よくわかりました。</p> <p>次に質問ですが、耐震化未実施路線について目標値と実際の路線の距離の比を 13 ページで説明をしていただいたのですが、どのような基準でその順番は決められているのかを教えてくださいたいと思います。</p>
会長	<p>事務局から回答をお願いします。どのような順番で耐震化の改修整備を進められているのかというようなご質問でありましたけれど、よろしいですか。</p>
事務局	<p>先ほども説明させていただきましたけれども、重要幹線の耐震化ということで国道や県道に埋設してある大きな管路をまず耐震化しています。その中の状況をカメラで見て、一番老朽化の激しいものから優先的に整備を進めております。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。お願いします。</p>
委員	<p>資料の確認なり、何点か質問したいのですが、まず資料の 13・14・15 ページ、これは公共下水道区域の中身ということでしょうか。例えば、他の集落排水などいろいろなことも含めての数字なのか、公共下水道だけの数字なのか、確認をお願いしたいと思います。それからもう一つ、17 ページも公共下水道のことにに関して述べられていると言いましたが、これもそうなのでしょうか。それから 19 ページの処理施設の統廃合ついて、公共下水道とか集落排水など色々と書いてありますが、最終的に公共下水道で 3 か所、特定環境保全公共下水道も 6 か所から 5 か所になるということで、農業集落排水は現時点の 58 か所からさらに令和 8 年までに 5 か所減らします。多分、広域合併といった形でされるのでしょうが、最終目標はさらに半分以下の施設数ということで、最終的には公共下水道とその周辺につないでしまうことを考えているのかという確認です。</p> <p>それから、事前に配っていただいた資料・鳥取市下水道等事業経営戦略の 14 ページに地震対策とあります。処理場やポンプ場の今後の施設数などが書いてあり、マンホールトイレの整備とあります。ご存じのように、大規模な災害の発生で支障が出てトイレが使えないという事態になったときのためにも、このマンホールトイレの普及も是非していただきたいと思います。現在、こういったマンホールトイレや、非常時の備蓄の整備状況がどれくらいになっているのか教えてくださいたいと思います。</p>
事務局	<p>耐震管のご説明をさせていただきます。まず、耐震管の対象ですが、これは公共下水道を対象としております。それと、マンホールトイレの</p>

事務局	<p>ことについてのご質問ですが、平成 26 年度までの実績としましては、南町に 38 基を整備しています。それと、計画としましては、玄好町に 40 基を計画しており、平成 29 年度にそのうち 9 基を整備しております。下水道部が行っているマンホールトイレの整備は、下水道用地の未利用地を利用しトイレを整備するものです。マンホールトイレの整備には、水と汚水を流す耐震管が近くにあることが条件となります。災害時には、1 つでも多くのトイレが必要となることを踏まえ、下水道用地の空き地を利用し整備しているものです。</p> <p>あくまでも本事業の目的は、マンホールトイレの整備ではなく、耐震管の整備です。例えば、多くの人が集まる小学校等の施設までを、耐震管でつなげていくようなことを目的としています。</p>
会長	もう一つの質問に対してもお願いします。
事務局	<p>19 ページの施設統合についてでございます。委員が言われますとおり、最終年度の半分にしなければならない数字が書かれているわけですが、正直色々な問題を抱えております。</p> <p>今後 32 施設という最終の目標値を見直していくことも踏まえ、色々と検討していきたいと思っております。</p>
会長	委員さん、今の回答でよろしいでしょうか。そうでしたら、他に、お願いします。
委員	耐震化の件で、ご質問させていただきたいと思います。全国的に色々なものが更新の時期を迎えていて、そのために長寿命化ということを言われています。この長寿命化というのは、どのような方法で行われるのか少し詳しく説明していただきたいのと、長寿命化することによって、さらにまた 50 年まで耐用年数は増えるのかどうかを教えていただけたらと思います。
会長	事務局、よろしいですか。
事務局	<p>長寿命化の方法ということですが、先ほどご説明させていただきましたが管路更生工法といいます。今ある管路の内面に新しい管路を作るという工法です。例えば、マンホールからマンホールまでにホースみたいなものを渡し、それに光を当てることによって膨らませて管路に密着させるというような工法をやっております。</p> <p>地震対策につきましても、管路更生工法で行っております。重要幹線ということで、大きな口径の管路となります。これは、管路の中に人が入って作業を行い、管路の内面にテープ状に巻いて新しい管路を設置していくというような工法です。耐用年数が、塩ビ管と同等くらいの耐用年数で 30 年程度と考えて設計しております。</p>

会長	ありがとうございました。委員さん、よろしいでしょうか。
委員	はい、ありがとうございました。
委員	2点ほど質問です。1点目ですが、耐震化と長寿命化の話がありましたが、この設定目標の一覧11ページの表を見ると、基幹幹線・重要幹線の耐震化や陥没箇所の管渠の状況把握調査の部分、ストックマネジメント・長寿命化計画策定状況や進捗具合が、目標に対してかなり遅いという感覚を受けます。当初値に対しての現状と経った年数を考えると果たして本当に目標値に到達するのか。遅れた原因というのはどんなことがあるのか。予算的なことなのか。教えてください。
事務局	有利な財源を活用して事業を実施しております。年度当初に、補助金の交付申請し、その後交付決定を受けます。国のほうからは、浸水対策とか未普及対策につきましては、補助金が付きやすいのですが、改修する耐震化とか長寿命化対策につきましては、なかなか補助金が付くのが難しい状況となっています。その影響を受けかなり遅れており、現在のこのような進捗になっています。
委員	少し前くらいまではどちらかというと防災や安全の補助金のほうがよく付くと聞いたことがありましたが、最近は未普及のほうが100%付き、防災や安全の補助金は70%ぐらいの予算しか国から補助金が付かない傾向ということですか。
事務局	地震対策に関しましては、あまり付いていないですけど、主に浸水対策のほうには付いているようです。
委員	長寿命化しようと思うと、長寿命化計画を立てなければいけないと思いますが、17ページの長寿命化計画のストックマネジメント策定について、管路に関しての長寿命化計画は立ててありますか。管路含めて15施設と書いてありますが、この処理場の処理区域の管路は処理場と一緒に立てているという理解でよろしいですか。
事務局	ストックマネジメントの関係でございますけども、管路の関係、箇所数としては、ポンプ場の中の内数として含んでおります。
委員	わかりました、ポンプ場に付随していると考えられると。それにしても、これに加えて集排のほうも老朽化しているところはかなり多いと思います。どんなインフラでもそうですが、新設ももちろん大事ですが、維持管理も多分すごく重要だと思います。更新とか長寿命化というのは予算がかなりかかってくるので、その長寿命化や更新対策というところをなるべく重点的にやっつけていかないと。最後に少し料金改定みたいな話もあったようですが、料金改定というか料金も含めた見直しみたいなところですね。料金を議論しようと思ったときに、当然下水道とか排

委員	<p>水設備は何があろうと続けていかなければいけない重要なインフラだと思います。それをやるために必要なものにお金かかるので料金をあげようというときに、長寿命化等で一生懸命努力したうえで厳しいという状態であれば、多分市民の皆様も納得してくれるのではないかという気がします。そういった面で考えると、長寿命化策定などは、急がなければいけないのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>長寿命化対策は、維持管理的な意味合いもあるため、既存施設の維持管理費に関しては、料金で賄うべきではないかと思います。</p>
委員	<p>長寿命化・更新というのは全部料金収入で賄う必要があるということなので厳しいということですか。</p>
事務局	<p>雨水対策に関しましては受益者を特定できませんが、汚水や水道に関しましては個人的なことになるため、料金で賄う必要があり補助金が付きにくいのかなというふうに思っております。</p> <p>補足させていただきます、スケジュール感のお話であったと思いますけれど、ストックマネジメント計画を実際に運用開始しておりますのが令和2年度からでございます。これまでの長寿命化計画の考え方から、施設全体を俯瞰して管理するストックマネジメント計画にちょうど移行した時期で、目標の24施設を令和8年度までの展開というのは、間に合うというふうに認識しております。ストックマネジメント計画につきましては公共下水道に関する計画です。</p> <p>それに似たような計画というものが集落排水にもあり、最適整備構想といえます。こちらのほうも着手しており、順次運用していきたいと考えております。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>整備計画が、数字上は遅れが出ているように見えますが、そうではなくこれから進んでいく予定というような説明であったと思います。</p> <p>その他何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。せっかくの機会ですからどのようなことでもと思いますけど。そうしますと、本日、鳥取市下水道等事業の経営状況についてと経営戦略の目標値及び現状の報告とそして下水道等事業の経営戦略の見直し時期については来年度ということが報告なされました。それでは、本日の議事についてはこちらで終了ということになろうかと思えます。</p> <p>8番のその他がございますが、これについては何か事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>～事務連絡～</p>
会長	<p>その他のところで、今後のスケジュールについて事務局から説明があ</p>

会長	<p>りましたが、これについて何かございますか。そうしましたら、以上を持ちましてということになります。</p> <p>全体について、何か委員の皆様から改めてご発言等ございませんでしょうか。そうしましたら、本日ご報告いただきました事項について、審議したということで以上を持ちまして第一回鳥取市下水道等事業運営審議会を閉会いたしたいと思えます。本日は、皆様お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。</p>
----	---